

新公益法人制度への移行.....定款変更、新役員

第60回定期総会で承認

平成21年度事業報告・一般会計決算報告も

第60回定期総会は5月28日午後、七生公会堂で開催されました。最初に北村讓司会長が挨拶をおこなひ、

また、今年度安全標語の入選者6名(4面参照)の表彰もおこなわれました。

新公益法人の認定申請に必要な定款の変更と新役員を選任という「重要案件のご審議をいただき、新しい時代のシルバ人材センター」の第一歩としていただきましたとのべました。挨拶要旨は(2面)

審議では、平成21年度事業報告、平成21年度一般会計決算報告、監査報告、平成22年度一般会計補正予算第1号(案)、定款の変更(案)、役員を選任(案)、会員会費規程の制定(案)の6議案、および報告事項として「公益法人改革に伴う公益社団法人移行申請」の説明を受け、一れを承認しました。

総会議事の他の事項は次のとおり。

名誉会長である馬場弘融日野市長は公務のため来場されず、田原茂市議会議長から祝辞をいただきました。次いで、地域班長を継続して2期以上務め、今年3月末で退任された6氏(2面参照)に一人づつ、北村会長から表彰状が手渡されました。

資格審査報告
本日の会員数 1716名
本日の出席者 254名
委任状提出者 1178名
合計1432名 83.4% 過半

月刊

さわやか

第38号
平成22年6月15日

《発行》
(社)日野市シルバー人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

会員数

平成22年4月30日

1,711名
男性 1,312名
女性 399名
入会者数
4月 27名
(男14名、女13名)
但し、退会者14名



第60回定期総会の会場
選任された新役員(23年度から)

	氏名	地域班	経歴
理事	有賀信夫	多摩平2	理事、事業部会員
理事	安藤義男	西平山	理事、副会長
理事	池田和宣	特別会員	常務理事、事務局長
理事	今井信一	多摩平1	理事、事業部会長
理事	大坪冬彦	特別会員	理事、監事、市職員
理事	北村讓司	落川・百草	理事、会長
理事	北村 勝	日野台1	施設受付管理
理事	渋谷善子	東平山	理事、広報部会員
理事	三輪信雄	多摩平2	事業部会員
理事	吉本清美	栄町	広報部会員
監事	沢井 茂	南平3	監事、地域班長
監事	大島康二	特別会員	監事、市職員

数)で総会成立
なお、定款変更には会員数の75%(↑287名)以上の賛成が必要ですが、今回この要件を満たしています。
議長団の選出
議長「棚瀬鐵男氏(日野4)
副議長「酒谷壽夫氏(落川 百草)

第2回地域班長会議

第2回地域班長会議が5月14日、生活保健センターの集会所で開かれました。半田事務局長代理が第60回定期総会付議事項として、定款変更での主な改正箇所を説明しました。質疑応答では、新定款が強調する「社会奉仕活動」と今までのボランティア活動との違いについて、「今まで以上に広くSCができる社会奉仕活動に取り組む」との決意がのべられました。

第60回定期総会

北村会長の挨拶(要旨)

本日は平成21年度の事業報告、決算報告等、通例の議案に加えまして重要議案をご審議いただくことになっております。

と申しますのは、3月総会でご案内した新公益法人認定申請のスケジュールでは、手続きに必要な定款変更と役員選任という総会案件を、9月臨時総会で承認いただく予定でした。しかし、東京都シルバー人材センター連合より認定委員会への申請状況からみて5月総会での対応が望ましいとのアドバイスがあり、急きょお諮りするにいたしました。

これらの議案をよろしくご審議いただき、新しい時代のシルバー人材センターへの第一歩としていただきたく思います。



挨拶する北村会長

われわれには「高齢者の生きがいと健康の実現、就業の場の開拓

地域への貢献」を実践してきた30年の歴史があります。その歴史をふまえ、新法の求める公益法人として自主、自立、協働、共助を地域に浸透させるために邁進しなければなりません。

地域の活性化に不可欠な事業体として日野市との連携を密にし、一層の努力をしております。

第1回統括リーダー会議

事例報告もとに取組み強化へ

今年度初の統括リーダー会議が5月12日、センター会議室で開催されました。事業部会の田村理事の司会で、まず安藤副会長が「1年を振り返って、問題が出たとき燃え広がらないうちに消すなど、統括リーダーの善処で問題が少し減ったようだ。様々な問題の事例をあげて具体的に報告し、まとめて欲しい」と提案しました。

各統括リーダーの報告では、橋本リーダー(公園・スポーツ関係)が「トラブルの原因を知らない」と対応できない」として、仲間相互の話し易い状況づくりを強調。高木リーダー(公共施設関係)は職場の意見を聴くため職場リーダー会議の開催を求めました。

伊藤事業部会長はまとめとして、事業部会として「出してもらった報告書を元に真剣に取り組み、行動していく」と発言しました。

平成22年度会費について
自動振込みの手続きをされていない会員さんと、手続きはされていても残高不足のため払い込みの出来なかった会員さんは、会費2000円を直接センターまでお持ちください。
会費の払い込みがされているかどうかは、通帳を記載して確認してください。(事務局)



平成23年度第1回統括リーダー会議の関係者顔揃え

理事会二ニュース

第2回理事会 5月31日

審議事項 正会員の入会報告事項 自転車講習会の開催、植木・草取り・草刈り班使用のリース車両の減車、参議院議員選挙事務の応募状況、4月事業実績、各専門部会・安全管理委員会の活動報告

「センター」行事日程

6月16日(水) 参院選挙事務局説明会 生活・保健センター
7月18日(日) 全地域班一斉清掃

第60回定期総会で表彰された前地域班長6氏(敬称略)

田村隆道(新町)、名取孝恭(神明)、原田松夫(天坂上)、中島宏司(東平山)、今泉孝一(西平山)、小川寿二郎(鹿島・南平)

配分金の支払日

- 6月18日(金)
- 7月20日(火)
- 8月20日(金)
- 9月17日(金)
- 10月20日(水)
- 11月19日(金)
- 12月20日(月)

リサイクル・フェアを開催

今年度初のリサイクル・フェアが曇天で少し肌寒い5月29日(土)午前10時～午後1時、リサイクル事務所で開催されました。

今回は、会場周辺の10地域班の班長さんが、案内チラシ計3万枚を配布して参加を呼び掛けました。出店規模は昨年9月開催の時とほぼ同じでした。

今春は、天候による野菜の値段が高かった影響もあってか、地場野菜の売れ行きがすこぶる良く、いつもより多く用意した野菜が早々に完売していました。また家具売り場では、「売約済」と書かれたソ



リサイクル・フェアの地場野菜売り場

ファセット等が目を引き、携帯電話で家族と商品の相談をするお客さんの姿もありました。

リサイクル自転車は相変わらずの人気で、抽選にはずれた方は「次回のリサイクル・フェアはいつですか」と尋ねて帰る人が何人かいました。

広報部会は総務部会と連携して、テントに写真パネル等を展示するとともに、会員募集のチラシとポケットティッシュを約500個配布しました。

本年度第1回 AED 講習会

今年度第1回 AED(自動体外式除細動器)講習会が5月17日午後、当センター会議室で行われ、8カ所の公共施設から各1名(うち女性1名)が参加しました。講師として来訪された日野消防署防災課の佐々木、宮下両氏には、丁寧の説明していただきました。今回からマウスピースによる人工呼吸法は使わなくなりました。前回は1月15日に当センター会議室で実施、10名が参加しました(本紙第34号1面で報道)。

横断幕のスローガン募集

当センターは、PR用の横断幕のスローガン「シルバーで知恵の輪人の輪社会の輪」を一新するため、下記の要領でスローガンを募集します。

記

字数：15字前後 締切り：7月末
問合せ先：事務局(担当・鶴川)
採用の分には粗品を進呈します。



JR豊田駅に掲示された横断幕

安全運転講習会

以前の自動車運転ライセンス講習会に代わる会員のための運転技術講習会。昨年末にライセンス制度が廃止されたのに伴い、今年度から新規発足しました。両者の最大の違いは、以前は運転の実技講習を会員同士で教え合っていたが、今回から自動車教習所「多摩コース」のプロの教官が直接指導する点。ライセンス制度も全国のSCの中で、少数な存在でしたが、今回のような教官直接指導の講習会はSCで初めてのこと。

例 「講座」

1 文学・歴史・教養講座

古典、漢詩、小説、短歌、俳句、川柳、歴史など

2 アート講座

水墨画、絵手紙、木版絵、ちぎり絵、写真、生け花、茶道、書道、手芸、パッチワーク、工芸など

3 外国語講座

韓国語、中国語、英語、フランス語、スペイン語など

第1回自動車安全運転講習会を実施

東京しごと財団・高橋理事長も見学

平成22年度第1回自動車安全運転講習会が5月10日と12日、午前・午後の計4回、多摩コース自動車教習所で実施されました。受講者は計20名でした。(3面それぞれをご覧ください。参照)

初めに安全管理委員会の飯森副委員長が従来の講習と違い、今回から多摩コース教官による



講習会を見学する高橋理事長(右から2人目)

直接指導を受ける」と挨拶。当教習所の平所長は「技術の新規習得は無理なので、安全運転の意識を身につけて欲しい」と、講習のねらいをのべました。

続いて2台の自動車を使用し、教官に受講者1名ずつが分乗。マシントーマンでコース内を8項目のポイントについて約15分間の実習が行われました。

最初の受講者、堤武雄さんは「停止線より少し前に停止してとの指導を受けたが、つまりは、ゆとり運転を心掛けることですね」と納得。金田春雄さんは「右左折時の確認は2段階ですること、自分だけでなく他者への注意を十分にするなど、安全運転の意識を再確認しました。」

実習後、各人に今日の結果からみたアドバイス」のプリントが配られ、平所長からは、未然に事故を防ぐための講義がありました。

なお、10日午前、折から当セン

ター来訪中の東京しごと財団の高橋都彦理事長が、「SC」によるこのような教官直接指導の講習会は全国で初めて」と、多摩コースでの講習を見学しました。

安全標語の入選発表

第60回定期総会で発表された今年度安全標語の入選発表は次のとおり。応募総数は計93点でした。

最優秀作 1点

次の路地 飛び出しあるぞ 気をつける

金田春雄(日野本町)

佳作 5点

無理するな 次の信号 待つ
余裕 足立忠弘(西平山)
自転車も車両と同じ 守ろう
安全 交通法規

飯森佳明(万願寺2)
昇り降り 確認しつつ 歩を進め
田中富士人(西平山)
歩行者の 後ろに目は無い
追い越し注意

武藤若男(多摩平2)
転ぶまい 足もと段差に 要注意
横東正良(平山2)

問合せ先 市健康課、保険年金課

お元気ですか

最近ツイッター (twitter) を始めた。日本語では「つぶやき」と訳される。140字以内で自分の思いや身の回りのことを自由に発信でき、パソコンや携帯電話を利用する。日本では鳩山前総理もつぶやいており話題になった。

一時期、あるビール会社の「コマーシャルで男は黙って、ビール」というのが流行した。古くは、男は無口でしっかり仕事をするものだという風潮もあった。

しかしグローバル化した今日、たくさんの人々に出会う機会が多くなり、思いを口に出さなければわかってもらえない。まして外国人に対しては自分の意見を述べなければ理解し合えない。

テレビや新聞などをとおして情報は飛び交っているが、ある種の篩にかけられている。ツイッターの世界では各人が自分の見聞きしたものを投稿する。生の声である。スピードも早い。もちろん何を信じるかは個人の責任である。

雑事をこなしつつ、今日もパソコンに向かいつぶやきながら世の中の動きを見つめている。(今村 優)

市実施の特定健診、生き生き健診は必ず受けましょう